

## 1 題材名

『大規模住宅団地と内陸工業団地の開発』

～千葉市北西部・花見川区（・稲毛区・若葉区）周辺の地域学習として～

## 2 授業のねらい

- ①千葉市北西部には複数の大規模住宅団地と広大な千葉北部工業団地があります。これほどの面積を必要とするものがこの地域に多いのはなぜでしょうか。千葉市北西部・花見川区（・稲毛区・若葉区）周辺の地域学習です。
- ②建設当時に、全国最大級のマンモス団地として話題になったのが花見川団地です。北西部には多くの住宅団地と「千葉北部工業団地」もあります。「よくそんなに土地があったな…」という疑問から始めて、「どうしてこの地域だったのか？」を、古地図や資料から考察していきます。
- ③自分たちの住む町づくり・地域づくりを、千葉市と関連させて考えて地元への関心を高めます。

## 3 学習指導要領の項目、指導計画上の位置付け

◇総合的な学習において、それぞれの目標へ向けた学習の一助としての地域学習

◇1時間扱い

◇1年生 学区探検、地域訪問などの事前学習として

2年生 校外学習へのとりかかり、下準備として

3年生 修学旅行先での学習へ向けた予備知識として

## 4 予想される授業の流れと指導資料

- ①市内北西部の大規模住宅団地と工業団地をリストアップして実態を把握します。

\* 花見川団地、こてはし団地、東寺山団地、小倉台団地、千城台団地・・・

\* 千葉北部工業団地

- ②住宅や工場がこの地域に建てられたり誘致された理由を、地図ソフト「今昔マップ on the web」等で探りながら予想します。

＜小グループで討議を行い、まとまった考えを発表＞

\* 地理的条件 広い土地、比較的平坦な地形、鉄道や道路との関係、都市や消費地との距離・・・

\* 歴史的条件 入会地・野・牧、軍用地(基地、施設、演習場)・・・

- ③かつては芋（野菜）生産地であり、近年は近郊農業における主要な生産地であるという特徴（＝伝統）を活かしてまちづくり・地域づくりをするには、どういう方向性が良いか考えます。

\* 犢橋の農場公園、長沼の農業試験場などの存在を考察のヒントとして提示するのも良い

- ④また、スプロール現象や大規模校問題といった弊害についても考えを持たせます。

＜③、④とも小グループで討議を行い、まとまったら考えを発表＞

＜活用するおもな資料＞

◎『史料で学ぶ千葉市の今むかし』千葉市歴史読本

◎今昔マップ on the web

◎当館特別展『高度成長期の千葉』図録

◎当館企画展『甘藷先生の置き土産』解説書

◎『伸び行く千葉市』千葉市教育委員会

◎開拓農家の手記

◎地図帳

など

## 5 指導上の留意点、その他

◇学校周辺の土地の昔の様子がわかる地図や記録等があれば、ぜひ参考にさせていただきます。

◇かつての土地が「今どう生かされているか？」を大切にしてお考えさせたいです。

◇ご家族や近隣の方などから、関連する話を事前に話を聞いておくよう生徒にお伝えいただくのも良いと思われます。